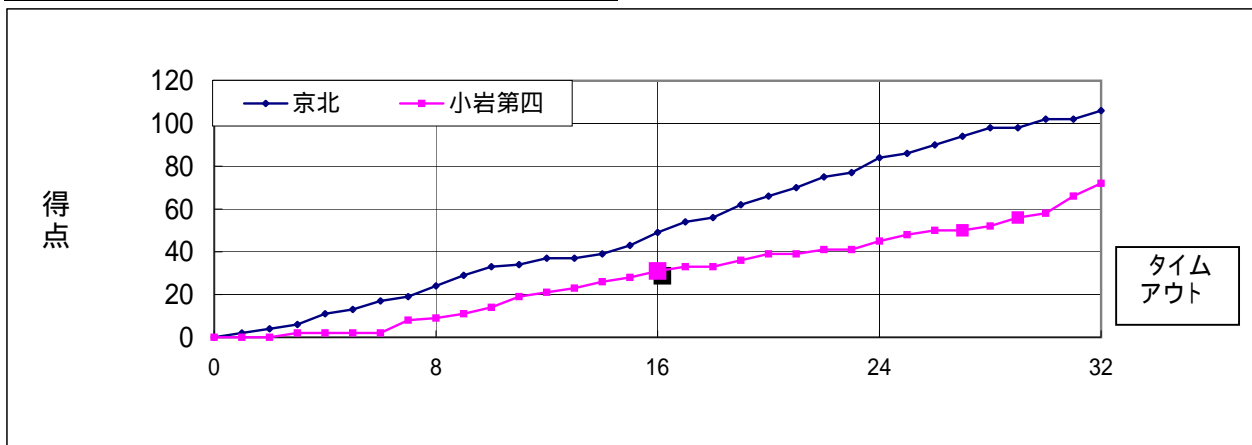


試合区分	2日目 決勝トーナメント2回戦 2GA6																	
期日	2010年(平成22年)8月24日(火)		16:10															
会場	広島県立総合体育館																	
結果	京北 106 (東京)	<table border="1"> <tr><td>24</td><td>-</td><td>9</td></tr> <tr><td>25</td><td>-</td><td>22</td></tr> <tr><td>35</td><td>-</td><td>14</td></tr> <tr><td>22</td><td>-</td><td>27</td></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </table>	24	-	9	25	-	22	35	-	14	22	-	27	-	-	-	72 小岩第四 (東京)
24	-	9																
25	-	22																
35	-	14																
22	-	27																
-	-	-																
審判	主審 福岡 敏徳	副審 小倉石 一哉																



京北

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 新川 敬大 (C)	24	0	11	2	1
5	* 川久保 駿	15	1	5	2	2
6	安保 友貴	2	0	1	0	2
7	* 石原 卓	13	1	4	2	0
8	* 小林 耀	10	0	5	0	2
9	* 吉川 治耀	21	3	6	0	1
10	福本 哲也	6	0	3	0	1
11	斉藤 孝幸	0	0	0	0	0
12	沼田 優樹	0	0	0	0	0
13	佐藤 涼	4	0	2	0	1
14	岡田 大貴	5	0	2	1	3
15	安倍 崇道	2	0	1	0	1
16	棟方 啓介	2	0	0	2	1
17	天利 優介	2	0	1	0	0
18	玉城 啓太	0	0	0	0	0
コーチ	田代 直人					
合計		106	5	41	9	15

小岩第四

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 植村 哲也	14	2	4	0	3
5	* 貫 諭舒	13	0	6	1	3
6	* 新号 健 (C)	23	4	4	3	4
7	岩井 伸	0	0	0	0	1
8	高塚 雅也	-	-	-	-	-
9	松本 滉平	2	0	1	0	0
10	* 土居 旺	9	0	3	3	0
11	田沼 隼	-	-	-	-	-
12	* 水谷 圭吾	11	3	1	0	2
13	羽賀 碧人	-	-	-	-	-
14	宮木 優介	-	-	-	-	-
コーチ	阿部 桂					
合計		72	9	19	7	13

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦評

一回戦を快勝した京北と、延長の末勝ちを収めた小岩第四のベスト4進出を賭けた一戦。Defは、小岩第四はハーフのマンツーマン、京北は2-1-2のゾーンでスタート。京北は#7のドライブを起点に、内外と速いパス回しで攻撃し、開始4分で13-2とリード。対する小岩第四は、外角シュートを中心に攻めるが決まらず、京北はDefリバウンドからの速攻、さらに#4のドライブインで差を広げる。残り2分を切った時点で小岩第四#6の3Pが連続して決まったが、京北は速い攻めから、#4、#6が次々とゴールを決める。終了間際に京北#9の3Pが決まり、24-9で1Qを終えた。2Qに入り、小岩第四は#4の外角シュート、#6の3Pやドライブインで反撃。速攻も決め追い上げを図るが、京北がリバウンドを支配し、なかなか点差は縮まらない。互いに点を取り合い、49-31の京北リードで前半を終える。

3Qに入っても京北は全員がよく走り、高さや速さを生かしてどこからでも攻撃し、得点を重ねていく。小岩第四も#12の3Pや#4の速攻が決まるが、インサイドを攻めきれず、差は広がる一方である。その後も京北はDefの足を止めず、速い攻めを続け、84-45で3Qを終了した。4Q、京北は代わって出場したメンバーがさらにボールプレッシャーをかけ続け、106-72で試合終了。小岩第四も必死でボールを追いかけゴールを狙い最後まで健闘したが、総合力で上回る京北がベスト4進出を決めた。

記事者 関川 富栄 (所属) 広島